
報道関係者各位

株式会社 BCN

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル

TEL: 03-3254-7803 FAX: 03-3254-7808

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします

BCN AWARD 2018 実行委員会

E-MAIL: bcn_award@bcn.co.jp

デジタル家電やパソコンなどの年間販売台数 No.1 メーカー決まる ——「BCN AWARD 2018」受賞社発表 ～あわせて「BCN IT ジュニア賞 2018」受賞者を発表～

株式会社 BCN(本社:東京都千代田区、奥田喜久男 会長兼社長)は1月15日、「BCN AWARD 2018」の受賞社を発表した。全国の主要家電量販店やカメラ量販店、パソコン専門店、ネットショップなどの実売データをもとに、デジタル家電やパソコン関連製品の販売台数を集計し、部門別に2017年の年間販売台数 No.1 メーカーを表彰するもの。19回目を迎える今回は、117部門で56社が受賞した。

【初受賞や新設部門など、受賞社の主な顔ぶれ】

デジタル家電やパソコン、それら関連製品とソフトウェアの部門別販売台数年間 No.1 メーカーを決める BCN AWARD。「BCN AWARD 2018」では、ハードウェアは85部門で37社、ソフトウェアは32部門で19社が受賞。計117部門で56社が受賞した。

既存各部門での初受賞社は8社。ハードウェア部門では「スピーカーシステム部門」でヤマハ、「電子ピアノ部門」でコルグ、「デジタルフォトフレーム部門」で恵安、「三脚・一脚部門」でハクバ写真産業、「SIM フリースマートフォン部門」でファーウェイ・ジャパン、「ドライブレコーダー部門」でコムテックの計6社が初めて受賞した。ソフトウェア部門では「ユーティリティソフト部門」でAHS、「クリップアートソフト部門」で筆まめが初めて受賞した。さらに今回新設した「有機 EL テレビ部門」ではソニー、「VR・AR ゴーグル部門」ではソニー・インタラクティブエンタテインメントが受賞した。

また、今回 No.1 を奪還した主なメーカーは次の通り。「記録型 DVD ドライブ部門」でアイ・オー・データ機器が10年ぶり、「デスクトップ PC 部門」で富士通が9年ぶり、「PND 部門」でパナソニックが5年ぶり、「複合プリンタ部門」でセイコーエプソンが4年ぶり、「液晶テレビ(4K以上)部門」でシャープが2年ぶり、「グラフィックスソフト部門」でアドビ システムズが4年ぶり、「PC ゲームソフト部門」でスクウェア・エニックスが2年ぶりに No.1 を奪還した。(そのほかの各部門、受賞社は「BCN AWARD 2018 受賞社一覧」をご参照ください)

【19年連続受賞】

19年連続で BCN AWARD を受賞したメーカーは次の通り (7社12部門)。

- ・クリエイティブメディア「サウンド関連ボード部門」
 - ・バッファロー「LAN カード部門」
 - ・ワコム「ペンタブレット部門」
 - ・日本マイクロソフト「OS 部門」「統合ソフト部門」「データベースソフト部門」「表計算・グラフソフト部門」「プレゼンテーションソフト部門」
 - ・ジャストシステム「ワープロ・エディタソフト部門」「FEP ソフト部門」
 - ・弥生「業務ソフト部門」
 - ・筆まめ「葉書・毛筆ソフト部門」
-

【「BCN AWARD 2018」表彰式開催概要】

受賞社のトップをお招きし、「BCN AWARD 2018」表彰式を開催します。メディア各社様の取材も可能ですので、ぜひおいでいただきますようご案内いたします。

開催日時：2018年1月26日（金）15：00～17：00（開場 14：30）

開催場所：TKP ガーデンシティ品川 ボールルームイースト（東京都港区高輪 3-13-3）

※なお「BCN AWARD 2018」「BCN IT ジュニア賞 2018」表彰式の模様は

Ustream の下記アドレスでリアルタイム配信いたします。どうぞご覧ください。

<http://www.ustream.tv/channel/7yp2vh79fb6>

<BCN AWARD とは>

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計する BCN が、そのデータをもとに年間（1月1日～12月31日）販売台数累計第1位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2018」の集計対象は、23社/2608店舗です（※）。受賞社の決定にあたっては、5名の有識者からなる認証委員会を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

※集計対象社は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店/統廃合などにより若干変動いたします。

<実売データ提供販売店>

アベルネット、アマゾン ジャパン、エディオン、NTT レゾナント、ケースホールディングス、コジマ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ドスパラ、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス、楽天（楽天ブックス）（50音順）

<後援>

大手家電流通協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
公益財団法人 日本生産性本部

<協力>

日本事務器株式会社

BCN AWARD 2018 受賞社一覧

<ハードウェア部門 85部門 37社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	富士通株式会社	3回目
ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	7年連続11回目
タブレット端末部門	Apple Japan, Inc.	7年連続7回目
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	7年連続7回目
液晶ディスプレイ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2年連続3回目
新設 VR・ARゴーグル部門	株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	初受賞
インクジェットプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	4年連続9回目
ページプリンタ部門	ブラザー工業株式会社/ブラザー販売株式会社	4年連続6回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	13年連続13回目
複合プリンタ部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	11回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	4年連続5回目
外付けハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	10年連続15回目
ハードディスクドライブ内蔵部門	ウエスタンデジタルジャパン株式会社	4年連続4回目
NAS部門	株式会社バッファロー	5年連続5回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	7回目
SSD部門	日本サムスン株式会社	4年連続4回目
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	7年連続7回目
マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	13年連続15回目
メモリカード部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2回目
USB部門	エレコム株式会社	2年連続17回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	8年連続9回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	9年連続9回目
USBメモリ部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
KVM切替器部門	エレコム株式会社	4年連続6回目
PCケース部門	ENERMAX TECHNOLOGY CORPORATION/株式会社クーラージャイアント	3年連続3回目
ベアボーン部門	インテル株式会社	4年連続4回目
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	7年連続7回目
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	8年連続10回目
ワイヤードスピーカー部門	エレコム株式会社	3年連続11回目
ワイヤレススピーカー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4年連続4回目
DTM関連機器部門	株式会社コルグ	7年連続7回目
映像関連ボード部門	ゲーグル株式会社	4年連続4回目
サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	19年連続19回目
グラフィックボード部門	シー・エフ・デー販売株式会社	15年連続15回目
ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	5年連続5回目
スピーカーシステム部門	ヤマハ株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン	初受賞
AVアンプ部門	ヤマハ株式会社/株式会社ヤマハミュージックジャパン	5年連続5回目
ヘッドセット部門	エレコム株式会社	7年連続7回目
ヘッドホン・イヤホン部門	株式会社オーディオテクニカ	9年連続9回目
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	7年連続7回目
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	11年連続11回目
ICレコーダー部門	オリンパス株式会社	3年連続11回目
電子ピアノ部門	株式会社コルグ	初受賞
LANカード部門	株式会社バッファロー	19年連続19回目
HUB部門	株式会社バッファロー	17年連続18回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	15年連続16回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	16年連続16回目
PLC部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2年連続2回目
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	3年連続9回目

部門名	受賞社	受賞回数
スキャナ部門	株式会社PFU	8年連続8回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	14年連続14回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	10年連続12回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	オリンパス株式会社	3年連続6回目
デジタルビデオカメラ部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	3年連続3回目
アクションカメラ部門	GoPro, Inc.	3年連続3回目
デジタルフォトフレーム部門	恵安株式会社	初受賞
交換レンズ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	9年連続9回目
三脚・一脚部門	ハクバ写真産業株式会社	初受賞
カメラケース・バッグ部門	ハクバ写真産業株式会社	2年連続2回目
PCカメラ部門	株式会社ロジクール	5年連続10回目
マウス部門	エレコム株式会社	18年連続18回目
キーボード部門	株式会社ロジクール	6年連続6回目
ゲームコントローラ部門	株式会社バッファロー	2年連続2回目
10キーボード部門	エレコム株式会社	2年連続12回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	19年連続19回目
スマートフォン部門	Apple Japan, Inc.	7年連続7回目
SIMフリースマートフォン部門	華為技術日本株式会社(ファーウェイ・ジャパン)	初受賞
スマートフォンケース部門	エレコム株式会社	5年連続5回目
スマートフォン保護シート部門	エレコム株式会社	2年連続2回目
モバイルバッテリー・充電器部門	エレコム株式会社	4年連続4回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	13年連続13回目
電子文具部門	株式会社キングジム	5年連続5回目
CDメディア部門	マクセル株式会社	2年連続7回目
DVDメディア部門	マクセル株式会社	2年連続8回目
BDメディア部門	マクセル株式会社	5回目
液晶テレビ(4K未満)部門	シャープ株式会社/シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	14年連続14回目
液晶テレビ(4K以上)部門	シャープ株式会社/シャープエレクトロニクスマーケティング株式会社	2回目
新設 有機ELテレビ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	初受賞
デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	2年連続5回目
BD・DVDレコーダー部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	7年連続9回目
BD・DVDプレーヤー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	3年連続4回目
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	14年連続14回目
PND部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	3回目
ドライブレコーダー部門	株式会社コムテック	初受賞
LED電球・蛍光灯部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	5年連続5回目

<ソフトウェア部門 32部門 19社>

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	19年連続19回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	19年連続19回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	19年連続19回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	19年連続19回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	15年連続15回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	19年連続19回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	19年連続19回目
データ管理ソフト部門	株式会社デネット	2年連続2回目
MAP・ナビソフト部門	株式会社昭文社	5年連続5回目
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	10年連続10回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	19年連続19回目
グラフィックスソフト部門	アドビ システムズ株式会社	15回目
ビデオ関連ソフト部門	サイバーリンク株式会社	3年連続5回目
画像処理ソフト部門	アドビ システムズ株式会社	16年連続16回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	11年連続11回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	10年連続10回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	19年連続19回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	18年連続18回目
CADソフト部門	エーアンドエー株式会社	2年連続2回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	14年連続14回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSデータ株式会社	9年連続9回目
ユーティリティソフト部門	株式会社AHS	初受賞
携帯電話ソフト部門	ソースネクスト株式会社	6年連続16回目
教育・学習ソフト部門	株式会社かくげい	6年連続7回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	17年連続18回目
テンプレートソフト部門	株式会社デネット	4年連続4回目
フォントソフト部門	株式会社モリサワ	3年連続3回目
クリップアートソフト部門	株式会社筆まめ	初受賞
葉書・毛筆ソフト部門	株式会社筆まめ	19年連続19回目
ホームソフト部門	テクニカルソフト株式会社	9年連続9回目
DTPソフト部門	株式会社筆まめ	9年連続9回目
PCゲームソフト部門	株式会社スクウェア・エニックス	4回目

< BCN IT ジュニア賞 2018 >

株式会社 BCN は、技術立国日本の次代を担う若い世代にもものづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を迎えるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設。今回で 13 年目を迎える。

「BCN IT ジュニア賞」は、特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会からの推薦を受け、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めるなど、すぐれた技術をもつ IT ジュニアの学生を表彰する制度。今年、高等専門学校生徒が参加する「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、工業高校生を対象とした「高校生ものづくりコンテスト全国大会」「全国高校生プログラミングコンテスト」、全国の 22 歳以下を対象とする「U-22 プログラミング・コンテスト」、若年者のものづくり技能を競う「若年者ものづくり競技大会」の入賞者から、すぐれた技術をもつ 6 チームと個人 4 名を選出、「BCN AWARD」表彰式の会場で表彰する。さらに今回、新たに「BCN IT ジュニア U-16 賞」を設定。16 歳以下を対象とする U-16 プログラミングコンテストの「北海道大会」「三重大会」「松山大会」の優勝者を表彰する。

「BCN IT ジュニア賞」の表彰式は、「BCN AWARD」の表彰式と同じステージで行われる。IT 関連メーカーのトップから激励と表彰を受けることで、若者たちのものづくりに取り組む情熱がさらに燃え上がることを期待する。

< 「BCN IT ジュニア賞 2018」受賞チーム・受賞者 >

- ・STEP——スコアブックと連動する動画閲覧システム 制作チーム（国立鳥羽商船高等専門学校）
- ・EachTouch 制作チーム（国立香川高等専門学校詫間キャンパス）
- ・てんば組（東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス）
- ・宮城県工業高等学校情報研究部プログラミングコンテストチーム
- ・OMNISCIENCE（立教新座高等学校）
- ・固有スキルせんたく板（埼玉県立越谷総合技術高等学校 29 期生）
- ・小川広水（東京都立小石川中等教育学校）
- ・菅野楓（早稲田実業学校中等部）
- ・大西海輝（四国職業能力開発大学校）
- ・石田有希人（愛媛県立松山工業高等学校）

< 「BCN IT ジュニア U-16 賞 2018」受賞者 >

- ・成瀬 有翔（北海道旭川市立愛宕中学校）
- ・田丸 皓大（三重県津市立南立誠小学校）
- ・井上 晶（愛媛県伊予市立港南中学校）

< 協力 >

特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 2018 実行委員会 TEL:03-3254-7803 E-MAIL:bcn_award@bcn.co.jp